

【出演者変更のお知らせ】

毎年恒例、お正月のウィーン・フィル・ニューイヤーコンサート直後に来日公演をしてくれる、同団のメンバーたちから構成されるウィーン・リング・アンサンブル。

先日クラリネットのペーター・シュミードルがダニエル・オッテンザマーに変更となりました。

今度は、ホルンのヴォルフガング・トムベックが本人の事情で、ウィーン・フィル首席奏者のロナルド・ヤネシッツと交代することになりました。

よって、来年からのウィーン・リング・アンサンブルは、以下のメンバーとなります。

ウィーン・フィルのレジェンドとも言えるキュッヒルを筆頭に、現役首席奏者4名、楽団長のフロシャウアー、事務局長のブラデラーが揃う錚々たる顔ぶれです。

1月の公演をどうぞお楽しみに♪

[ウィーン・リング・アンサンブル]

ヴァイオリン：ライナー・キュッヒル、ダニエル・フロシャウアー

ヴィオラ：ハインリヒ・コル

チェロ：ロベルト・ナジ

コントラバス：ミヒヤエル・ブラデラー

フルート：カール＝ハインツ・シュッツ

クラリネット：ダニエル・オッテンザマー、ヨハン・ヒントラー

ホルン：ロナルド・ヤネシッツ

ロナルド・ヤネシッツ（ホルン）Ronald Janezic, Horn

1968年、ニーダーエーステライヒ州のノインキルヒェン生まれ。父もウィーン・フィルハーモニー管弦楽団でホルン奏者として活躍。ウィーン7区の音楽ギムナジウムに通いながら、最初はウィーン音楽アカデミー（現・音楽大学）でピンダー教授のもとでヴァイオリンを勉強し、15才からホルンを学び始め、ガブラー教授と父に師事した。

1990年、ウィーン国立歌劇場管弦楽団に首席ソロ・ホルン奏者として入団し、1992年には通常よりも早い段階でウィーン・フィルの一員に迎えられた。

現在、ウィーン・ホーフムジーク・カペレ（ホーフブルク宮殿教会・楽士）のメンバーでもある。また、世界各地で後進の指導も行い、ウィーン八重奏団の一員としても活躍中。ソリストとしてウィーン・フィルと行った録音も2つあり、そのうちのひとつはR. シュトラウスのホルン協奏曲第2番。